

## 島根県がん対策推進計画の進捗状況について

# 1 重点目標に対する進捗状況

## 【重点目標 1】

がん死亡率（75歳未満のがん年齢調整死亡率）（人口10万対）の低減

数値目標	計画策定時	現状	目標値
(男性) 20%低減 【平成24年までに】	平成17年 131.5 (100%)	平成22年 104.2 (79.2%)	平成24年 105.2以下 (80%以下)
(女性) 14%低減 【平成24年までに】	平成17年 60.6 (100%)	平成22年 58.7 (96.8%)	平成24年 52.1以下 (86%以下)

(厚生労働省：平成22年人口動態統計)

- 【男性】平成7年以降、がん年齢調整死亡率（75歳未満）は全国的に減少傾向にあり、島根県においても平成17年より減少していた。

平成18年 121.7  
 平成19年 124.4  
 平成20年 119.7  
 平成21年 109.5  
 平成22年 104.2 (平成18年より17.5ポイントの減少)

参考(全国) 平成18年 118.3  
 平成19年 116.4  
 平成20年 114.0  
 平成21年 109.8  
 平成22年 109.1 (平成18年より9.2ポイントの減少)

- 【女性】「男性」と同様に全国的に減少傾向にあり、島根県においても平成17年より減少していた。

平成18年 58.9  
 平成19年 58.1  
 平成20年 61.8  
 平成21年 52.2  
 平成22年 58.7 (平成18年より0.2ポイントの減少)

参考(全国) 平成18年 64.3  
 平成19年 63.2  
 平成20年 62.9  
 平成21年 61.3  
 平成22年 61.8 (平成18年より2.5ポイントの減少)

## **【重点目標 2】**

### **がん検診受診者数の増加**

※「分野別の進捗状況」において記載・説明

## **【重点目標 3】**

### **がんの薬物療法・放射線療法に精通した医師の確保**

※「分野別の進捗状況」において記載・説明

## 2 分野別の目標に対する進捗状況

### 1 がん予防の推進

指 標	計画策定時	現状	目標値	備 考
①喫煙率 ・ 全年齢（男） ・ 20～39 歳（男） ・ 20～39 歳（女）	平成 19 年 40.1% 64.4% 11.7%	平成 22 年 30.7% 46.0% 11.3%	平成 24 年 30.1% 48.3% 8.8%	
②がん検診受診者数 ・ 胃がん検診 ・ 肺がん検診 ・ 大腸がん検診 ・ 子宮がん検診 ・ 乳がん検診	平成 17 年 78,402 人 111,951 人 113,097 人 31,017 人 13,385 人	平成 22 年 98,534 人 136,330 人 136,245 人 39,294 人 30,389 人	平成 24 年 145,800 人 145,800 人 145,800 人 35,700 人 41,250 人	受診者数は次の合計数（市町村、環境保健公社、JAしまね厚生連、ヘルスインスセンタ-島根、医療機関実施の人間ドック） ※乳がん検診はマンモグラフィ検診受診者数
※ ③市町村が実施するがん検診の精検受診率 ・ 胃がん検診 ・ 肺がん検診 ・ 大腸がん検診 ・ 子宮がん検診 ・ 乳がん検診	—	平成 21 年度 81.0% 82.8% 64.2% 45.2% 88.3%	平成 24 年 90%以上 90%以上 90%以上 90%以上 90%以上	精検受診率は「地域保健健康増進事業報告」より算出  ※子宮がん検診 3月31日現在 73.0%

※「③市町村が実施するがん検診の精検受診率」は、中間評価に基づき H23 年度に新たに追加した指標

- 「①喫煙率」については、平成 22 年度に健康増進計画の中間評価として実施した島根県健康調査にて聞き取りを実施。20～30 歳の男性については目標値を達成しているが、同年代の女性については横ばい。
- 「②がん検診受診者数」については、全てのがんで増加。市町村実施の検診は前年度比で増加しており、節目年齢に無料クーポン券を配付する「女性特有のがん検診推進事業」の効果から、子宮がん及び乳がんの受診者数が特に増えている。
- 「③市町村が実施するがん検診の精検受診率」については、乳がん、肺がんの精検受診率は増加しているが、胃がん、大腸がんは横ばい。子宮がんは低下している。

## 2 がんの診断・治療水準の向上

指 標	計画 策定時 (H19)	現状 (H24. 3)	目標値		備 考
			平成 22 年	平成 24 年	
①放射線療法に精通した 医師数	4名	6名	6名	8名	・日本放射線腫瘍学会認定 「放射線治療専門医」数
②放射線療法に精通した 放射線技師数	2名	6名	6名	12名	・日本放射線治療専門技師認 定機構認定「放射線治療専門 技師」数
③放射線治療の精度管理 を行う専門職数	3名	6名	4名	6名	・放射線治療品質管理機構認 定「放射線治療品質管理士」 数
④薬物療法に精通した 医師数	0名	6名 (H24. 4. 1)	6名	12名	・日本臨床腫瘍学会認定「が ん薬物療法専門医」数
⑤薬物療法に精通した 看護師数	2名	7名	4名	6名	・日本看護協会認定「がん化 学療法看護認定看護師」数
⑥薬物療法に精通した 薬剤師数	2名	8名	4名	6名	・日本病院薬剤師会認定「が ん薬物療法認定薬剤師」「が ん専門薬剤師」の合計数
⑦がん看護に精通した 看護師数	0名	0名	1名	2名	・日本看護協会認定「がん専 門看護師」数
※ ⑧乳がん療法に精通した 看護師数	—	2名	—	6名	・日本看護協会認定「乳がん 看護認定看護師」数
※ ⑨放射線療法に精通した 看護師数	—	0名	—	2名	・日本看護協会認定「がん放 射線療法認定看護師」
※ ⑩摂食嚥下療法に精通した 看護師数	—	3名	—	2名	・日本看護協会認定「摂食・ 嚥下障害看護認定看護師」数
※ ⑪リンパ浮腫療法に精通し た専門職	—	5名	—	1名	・日本医療リハビリナース協会 「リハビリナースセラピスト上級講 習会修了者」数

※⑧～⑪は H22 年度に追加した指標

「各学会ホームページ」及び医療者等への聞き取り調査により把握  
調査時期：平成 24 年 3 月

【放射線療法】

- 「①医師」、「②放射線技師」「③放射線治療品質管理士」については、計画策定時に比べ①については2名②については5名③についても3名ずつ増えている。

【薬物療法】

- 「④医師」は6名、⑤看護師は6名増えている。
- 「⑥薬剤師」については、計画策定時に比べ6名増えている。

【がん看護（専門看護師）】

- 「⑦看護師（がん看護専門看護師）」については、平成22年度から、2名が大学院へ進学しているところであり、平成24年度中にはがん看護専門看護師の認定を受ける予定である。
- 「⑧⑨⑩看護師」「⑪リハビリセラピスト」については、平成21年度に新たに数値目標として掲げたところであり、一定程度の人数が認定看護師資格を取得したところである。

### 3 緩和ケアの推進

指 標	計画策定時 (H19)	現状 (H24.3)	目標値		備 考
			平成 22 年	平成 24 年	
①緩和ケアの基本的技術を習得した医師数		403 名	150 名	※ 500 名	・ H20 年度から国が示す研修内容に基づく「緩和ケア研修」受講修了者数
②緩和ケアに精通した看護師数	4 名	10 名	6 名	12 名	・ 日本看護協会認定の「緩和ケア認定看護師」数
③がん疼痛ケアに精通した看護師数	1 名	2 名	6 名	※ 6 名	・ 日本看護協会認定の「がん疼痛看護認定看護師」数

※「①緩和ケアの基本的技術を習得した医師数」は、中間評価に基づき H23 年度に目標値を改定  
 「③がん疼痛ケアに精通した看護師数」は、H22 年度に目標値を改定

※②、③

「各学会ホームページ」及び医療者等への聞き取り調査により把握  
 調査時期：平成 24 年 3 月

○「①基本的技術を習得した医師」については、6ヶ所の拠点病院等において実施され403名が修了した。(H23年度末現在)

○「②緩和ケアに精通した看護師」については6名、「③がん疼痛に精通した看護師」については1名計画策定時と比べて増えている。

## 4 患者・家族等への支援

指 標	計画策定時 (H19)	現 状 (H23)	目標値		備 考
			平成 22 年	平成 24 年	
①がん患者・家族等と 県・がん診療連携拠点 病院との意見交換会の 開催	1 回	10 回	4 回以上	4 回以上	・がん患者・家族等と県との 意見交換会は年 4 回以上開 催、さらに拠点病院も含めた 意見交換会も開催する。
②拠点病院に設置されて いる「がん相談支援セ ンター」の認知度		24.0%	50%	60%	・県民を対象としたアンケー ト調査で把握する。

○平成 23 年度における「①がん患者・家族等との意見交換会」の開催状況は以下のとおり。

- ・県全体の意見交換会（8 月 8 日：出雲市内）
- ・圏域別の意見交換会（12 月～1 月：7 圏域、8 箇所）
- ・がん診療連携拠点病院長との意見交換会（3 月 16 日：出雲市内）

○「②がん相談支援センターの認知度」については、平成 24 年 2 月に実施した「がんに関する県民意識調査」の結果によると、「利用したことがある」が 1.5%、「利用したことはないが、知っていた」が 22.5%となっている。

平成 23 年度 がんに関する県民意識調査  
調査時期：平成 24 年 2 月  
調査対象：県内に居住する 20 歳以上の男女 2,000 人（回答数：1,210 人）



## 5 がん登録の推進

指 標	計画策定時 (H19)	現 状 (H23)	目 標 値		備 考
			平成 22 年	平成 24 年	
①院内がん登録を実施している医療機関数	7ヶ所	10ヶ所	10ヶ所	12ヶ所	・標準登録項目に沿った院内がん登録を実施し、県内集計に参加している医療機関数
※ ②地域がん登録を実施している病院数	—	27ヶ所	—	47ヶ所	・標準登録項目に沿った地域がん登録を実施し、地域がん登録届出表を提出した医療機関数
※ ③地域がん登録を実施している診療所数	—	134ヶ所	—	103ヶ所	・標準登録項目に沿った地域がん登録を実施し、地域がん登録届出表を提出した診療所数

※「②地域がん登録を実施している病院数」及び「③地域がん登録を実施している診療所数」は、中間評価に基づき H23 年度に新たに追加した指標

○「①院内がん登録を実施している医療機関」は、計画策定時に比べ3医療機関増えている。

【院内がん登録実施医療機関（10ヶ所）】

- |   |  |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江市立病院</li> <li>・ 県立中央病院</li> <li>・ 国立病院機構浜田医療センター</li> <li>・ 国立病院機構松江医療センター</li> <li>・ 町立奥出雲病院</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 松江赤十字病院</li> <li>・ 島根大学医学部付属病院</li> <li>・ 益田赤十字病院</li> <li>・ 松江生協病院</li> <li>・ 済生会江津総合病院</li> </ul> |
|---|--|

○「②地域がん登録を実施している病院数」は、27ヶ所となっている。

○「③地域がん登録を実施している診療所数」は、134ヶ所となっている。

## 6 情報提供の推進

指 標	計画策定時 (H19)	現状 (H23)	目標値		備 考
			平成 22 年	平成 24 年	
県ホームページ 「しまねのがん対策」へのアクセス数	月平均 3,000 件	月平均 7,340 件	月平均 4,000 件	※ 月平均 8,500 件	

※中間評価に基づき H23 年度に目標値を改定

○平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月の 12 ヶ月間の延べアクセス件数は 88,082 件で、月平均にすると 7,340 件／月となっている。